平成２０年度米子市美術館協議会開催報告

１　開催日時
平成２１年３月１９日（木）午後１時３０分から３時３０分

２　開催場所
米子市美術館　第５展示室

３　出席者
委員１１人（敬称略）
長田　昭夫、高増佳子、生田　眞、福島　田鶴子、
入江　泰子、大谷　治、干村　恵美子、古澤　義雄、
藤山　雅江、渡里　彰造、今井　悟
（欠席：佐伯　啓子、奥田　千里、由良　ひろみ、安藤　釉三、）

事務局
長谷川文化課長、足村主査、長谷川主幹

美術館
正井館長、津田事務長、今主任学芸員

４　議題
１．平成２０年度事業報告について
２．平成２１年度事業計画について
３．その他

５　会議の公開又は非公開の別
公開

６　傍聴者数
０人（報道関係者含まず）

７　会議資料の有無
有り（別添のとおり）

９　次回開催予定
平成２２年３月頃
次回議案：　１．平成２１年度事業報告について
　　２．平成２２年度事業計画について

議事の概要

津田事務長　平成２０年度米子市美術館事業報告
平成２０年度の施設利用状況の報告、自主事業実施状況を説明

委　員　美術館主催事業の入館者数は、20 年度は合計 25,252 人。その前はどうですか。

長谷川次長　19 年度の場合で、2 万 7 千人です。

委　員　出展者の知名というのが総入場者数にも直接反映されていますね。

長谷川次長　主催事業の中で一番大きな人数の変動という部分はやはり特別展です。18 年度は「藤城清治」展 3 万４千人で抜群の数字を出しています。19 年度は「宮城まり子展」で 2 万 7 千人。平成 20 年度の場合「葉祥明展」2 万 5 千人、今現在の人数としては少ないですが、20 年度の現在、本池秀夫展覧会も開催中で 1 年度に 2 つ特別展をやる格好で、既に 1 万超えているので、少なくとも 3 月末までに昨年の数字を上回る来場者数になると予測しています。

委　員　主催事業以外の貸し館、毎年秋の文化祭の期間、開催期間が段々減ってきています。トータルの入場者は落ちないということは、開催日数が減っても個々のイベントの入場者数は増えているという事ですね。

長谷川次長　貸し館の状況は、20 年度で今現在 30,852 人。昨年の場合は 27,869 人で、貸し館の入場者数は昨年より増えています。

委　員　宣伝効果も必要と思います。好い作品の人を選んで欲しいです。

委　員　宣伝もありましたが、その時々のその人の作品により、入場者のそれぞれ波があると思いますが、いつでも、どんな人でも沢山入るものでもないと思うので、波があって当たり前だと思います。

委　員　海の日本画と彫刻の展覧会にでは、日本画の中に彫刻が入り、私は彫刻が損をするなと思いました。入った瞬間色の方が目に入り、彫刻が損と感じました。

長谷川次長　これは県と共同企画です。

委　員　当館だけの意向で展示しており、向こうの要望は全ては聞けません。今回とても良かったと思います。日本画の方に色があり目が

行きますが、彫刻も素晴らしい作品が沢山あり、とても良いドッキングだと観させていただきました。

委　員　　広報の方がやはりちょっと足りないので、折角良い作品なので、沢山の方に来ていただきたかったです。

委　員　　時期も１月でした。

委　員　　行くまでの条件整備ですが、市役所の駐車場からの垣根を分けて行くわけにはいかず、遠回りをしなくてはいけません。たどり着くまでのまず条件整備をして欲しいです。

委　員　　県外から来た人は、米子市美術館というのは一回行ったけども、あそこは不便だと言われます。入るまでの条件整備をしなければ、それだけの宣伝が出来ません。宣伝しようとしてもそれだけの材料がありません。これはやはり行政の方でしてください。

委　員　　それに関連し、オープンな形で今後の美術館の建物の計画についても進めていただきたいとお願いしたいです。

長谷川次長　移動線の話がありました。予算が伴うのは承知していますが、これは市の所管部局の方に話をしようと思います。
PR 不足につきましては、米子市美術館についてもずっと課題であります。周辺の県立の島根県立美術館、鳥取は鳥取博ですが、規模、スケール、予算、宣伝力。どうしても県立と私立ですと、規模やスケールの差は否定しようがございません。
逆に 19 年度 20 年度の米子美術館にトータル 5 万人が来場してくださったというのは、学芸員、館長さんに一生懸命やっていただいた成果が出ているということで私の方は自負しています。
　最後に美術館の整備拡充については市民のための美術館ですので、市民の色んな声を聞ける機会を設けたいと思います。同時に、色々な条件的に限られておりますので、それらは具合的な話の中でご説明しながら、どういう形へしていくか、一生懸命見聞きしながら議論できるかと思います。出来れば予算が 7 月くらいになると思いますが、まず将来的な見通しを含めた基本設計を予算化出来ればと思います。そうすれば具体的なイメージ等もできます。スケジュール的に逆算しますと、23 年度が工事で今進んでいます。この場では具体的に踏み込んだ話は出来ませんので、お待ちください。

司　会　　何かご意見ございませんか。

委　員　　ネーミングライツについて説明してください。

長谷川次長　米子市が平成 20 年度にネーミングライツということで、財政難の中から支援企業名をネーミングし、そこから広告宣伝料をいただき、それを管理、運営していう手法です。米子の場合は 20 年度は 2 箇所を公布しています。一つは東山運動場、もう一つはここの美術館、図書館、公園スペースです。いずれも施設ではなく、ゾーンに対するネーミングライツとし、これが年間、広告宣伝料で 300 万位だと思います。

委　員　美術館の整備拡充とは具体的にどうしますか。

長谷川次長　まだ決まった訳ではないですが、本体の拡充とういのは非常に限られていると思われます。そのため隣の二中を取り壊し、この美術館の保管、整理あるいは倉庫に必要な空間スペースに充てるとして今の所思案しています。

委　員　繋げるのですか。

長谷川次長　建築基準法上難しいところもありますが、出来ればどこかで繋げたいなと思います。別館の離れにするなど。

委　員　繋げるとはどこを繋ぐのですか。

長谷川次長　新しい二中の建物と本館とを繋ぎます。

委　員　本館と繋ぐのですね。

長谷川次長　そうです。

委　員　距離があり遠い感じがします。これを 25 年の 3 月までにやるということですか。

長谷川次長　今の想定でいきますと。25 年というより、算定的には 3 年かかると考えています。基本設計で一つのビジョンを作るのが 1 年。2 年目が実際に建築工事の設計で 1 年。工事期間が約 1 年。大体 3 年あれば、今 21 年の 3 月ですので、予定通りいけば、25 年を待たなくても供用開始ができます。

委　員　5 年のうちに二中を壊して、本館と接続し、その時に収蔵庫辺りのことも考えるとこういうことになりますか。

長谷川次長　そうです。

委　員　休憩室はどうなりますか。何年前も前から休憩室を作りなさいと言っています。

長谷川次長　予定内に入っています。今の段階では建築基準法に色々な制約があります。今の基準法の改正、耐震問題等ではそう簡単に付けれません。そこを通路部分で繋ぐ場合にもまたいくつかの条件があります。内容的には収蔵庫があり、休憩室があります。観に来られた方が、くつろげる休める空間。逆に施設・展示室を利用される方の控え室。ワークショップなど、色々な研修にも使える多目的な空間も計画にはあります。

委　員　ここの美術館の一番の欠点は、休憩室やお茶を飲む場所がありません。玄関の横に一部屋作ってください。部屋を作って、自動販売機を備え付けておけば良いのです。

委　員　噂では、噴水の所に市役所の食堂が出るとかいう話ですが、そういうことはありますか。

長谷川次長　中心市街地活性化事業の中で、一つのプランとして出ていますのが、市役所の地下の食堂があります。月曜日から金曜日までで、土日閉まっています。出来れば地下の食堂の進入路を、今の自転車置き場からダイレクトに出入りできるようにし、野外のオープンカフェも出来るようなプランが出ています。これにより、噴水の前にその様な空間を作り、これも一つの中心市街地賑わい作りに役立てようという案はあります。これも色々な条件があると関係課の方にも言っておりますが、米子市街地活性化事業の一つとして提案されていますので、どう進展するか見ていきます。もちろん私は賛成ですが、色々な関係部署は垣根があるようです。

委　員　分かりました。

津田事務長　平成 21 年度米子市美術館事業計画について説明

委　員　ネオテニーとは何のことですか。

学芸員　ネオテニーというのは、現代用語の一つとして最近取り上げられるようになった、幼形成熟という意味で、幼い形でそのまま成熟したという用語です。この高橋コレクションの主催、高橋龍太郎先生が、この展覧会の為にタイトルを付けられています。動物学や発生学が元々この言葉が使われていたジャンルで、幼い形を保ったまま、成熟していくという、日本の現代社会を象徴する言葉として最近用いられるようになってきたということです。　資料にネオテニーの説明があります。

委　員　高橋さんというのは精神科の先生ですか。

学芸員　　はい、そうです。

委　員　　もうちょっと分かりやすいのが良いです。島根の美術館みたいにフランスの絵画のような。人が多く入りますよ。

学芸員　　以前、奈良さんの展示の時にも、新しい方なので、どういう展示をされるのかと思っていますと、展示室内を物凄く作り込み、全くの別空間を作られ新しかったです。それが学生にも非常に好評でしたし、外のお店も使ってされました。島根県立美術館ですとか、ああいったところとはまた違った個性を出して行った方が、お客さんも集め易いのではないかなと思います。日本でこれだけ巡回展をされるのですから、西日本だけでしたらかなり遠方からの来客もあると期待しています。

委　員　　色んな手法を使ってＰＲをしてください。米子市報だけでは・・・。

館　長　　そうですね。日曜美術館等でもまた取り上げられる。高速道路のサービスエリアなどにも次々波及させ、西日本の米子市美術館ならではの展示をしたいです。巡回展ですけど、ある程度個性的にまとめたいと考えています。

委　員　　美術館としては上等でないかもしれないですけど、個性的にですね。

館　長　　是非喜んでいただける美術展になればと思います。

委　員　　鳥取大学がありますが、うちにも、色々な学生が広告を取りに来ます。美術部、市内の高校からなど、彼らも非常に興味を持つ人がいますので、若い人を、中、高、大学を含めて、広くＰＲされたら、それなりに意味が出ると思います。

館　長　　そうですね。今回もかなり若い方に喜ばれ、嬉しく思っています。色んな形で美術館に足を向けるということを、どんどん増やしていくこともまた配慮いただければありがたいと思います。

委　員　　大学の看護師さんの保健係の方達も、広告取りに来られたので、お勧めすると、ファンでしたので差しあげました。興味を持つグループが若い人にもいるのですね。

館　長　　今回は精神科の先生ですので病棟の看護師さんも来て下さいます。是非喜んでいただけるように、頑張っていきたいです。

委　員　　市展を民間委託したらどうですか。お金がかかるので市がされ

るのをやめて。節約して民間に使っていただく。この間運営委員会の反省会がありました。市展の出品料をいただく、という趣旨でした。

委　員　　県展で二千円いただきますね。市展は美術館の方が受付や展示も全てやり、その上経費を負担するよりも、二千円でも集めれば、それで運営費くらい出せますね。その上で補助を受ければ良いのではありませんか。

委　員　　市展では、千円、二千円にしても飾られるという気持ちだけで良いのです。

委　員　　市は民間に委託する意思がありますか、検討してみてください。私の名称では、がいな米子市民展。民間委託するのを考えてください。

長谷川次長　　市展は、まずやるかやらないかであり、やり方の中に直接やる場合、実行委員会を作ってやる場合、民間の企業に委託して出す場合など、手法の問題なので、まず本当に良い手法は何なのかを検討する必要があります。単に民間の企画会社へ委託して、それで本当に自身や市民が納得する市展が出来るかどうか、精査してみなければ委託というのは難しいのではないでしょうか。

委　員　　米子市とつけるから関与しないといけないのではないですか。

委　員　　米子市民展。市民全部を挙げて行い、民間に任せましょう。

委　員　　それでは市の美術展についてはここまでにします。

委　員　　レクチャーとは日本語で何のことですか。

学芸員　　講義です。

館　長　　日本語に訳せば、講義なんですけども、おしゃべりみたいなことです。お楽しみいただける内容です。

委　員　　次に学芸員レクチャーは色々と幅広くされるのは良いですが、一つが手薄にならないよう、特徴のあるものにして欲しいです。この企画が学校や、どこにでも伝わるようにされると効果的だと思います。

学芸員　　ありがとうございます。

委　員　　大変でしょうが、魅力的な美術館の活動ですので、上手に使っ

ていただけるようにＰＲしてください。

委　員　　ジュニアキュレーターって何のことですか。

学芸員　　子ども学芸員のようなものです。市内の学校と連携し、収蔵作品を用いての展覧会を長期のプログラムで計画、実施していこうと考えていますが中々美術館に定期的に通い、ミーティングや打ち合わせをする事が難しいという所です。運営形式を、市内の先生と話をしている所ですが、中々具体的に進んでいません。職場体験学習等で、類似のような事業というか展覧会の運営、常設展の展示作業など、その辺りに時期が合うものに関しては、こういう形で、こう作品をセレクトして、展示解説はこういう風に、あと展示に関してはこういう風な工夫をしていますよ、ということを随時実施しておりますので、その辺りの職場体験学習の経験を元に、良い形で実施できればと現在計画している所です。

委　員　　学校の先生も非常に興味があり、非常に良いですが、開拓しにくいですね。

学芸員　　そうです。

委　員　　美術講演会は美術館第一線で活躍している方を招く、というのは案がありますか。

学芸員　　現在高橋コレクションを特別展で予定していますので、精神科医の高橋龍太郎先生に講演していただこうと現在調整しています。

委　員　　出前講座というのが継続になっていますが、今年度の案はありますか。

学芸員　　一応募集はしているのですが、中々集っていません。少し解説をしてください、というものに参加したりしています。学校単位、公民館単位の出前講座まで出来ていませんが、館内に来ていただいた方に関しては、出来ています。外へ向けては次年度には、より声をかけ易いよう広報で検討しようと考えています。

委　員　　非常に興味があるのは良く対応しますが、声をかけても中々乗ってこない所はどう広告していいか分かりません。やはり、美術館の努めですので、ここを上手に使ってやっていくことが大事だと思います。美術館の個人プレイにならないようがんばって欲しいです。

委　員　　昨年の収蔵品で購入したもの、今後購入される予定はありますか。

館　長　　予定としては特にありません。経費の問題で、難しいと思います。

委　員　　収蔵庫の問題ではなく経費の問題ですか。

館　長　　そうですね。

委　員　　二中を壊すという考えがありましたけが、これだけは守って欲しいと言う事も、専門の方でしたらありませんか。もう既に決めておられるかもしれませんが。

長谷川次長　　具体的な事は決まっていません。

委　員　　収蔵庫が無いから買えないということでしょう。八千万円残っているでしょう。

委　員　　収蔵庫が出来てからだそうです。
委　員　　収蔵庫が無いから、買っても収蔵する所がないということでしょう。

委　員　　そうです。

長谷川次長　　予算的には確かにずっと以前から、基金としてあることはありますが、現収蔵品の中で修復及び一部その管理はほそぼそと修復しているのが現状です。良い器が出来れば、中に入れる良い物をという答えになりますね。この米子市美術館にとって、ぜひ収蔵したいという作品など何か機会がないとそう簡単にいきません。

長谷川次長　　本当に色々な多岐に亘るご意見をいただきましてありがとうございます。微力ですけれど、改善できるものは改善できるように努めたいなと思います。
連絡事項として、今後、図書館と同時に美術館整備事業が動き出し始めますと、その都度このような会議に集まってという事が難しい場合でも、情報だけは皆様へお知らせしながら、適時意見の集約をし、仕事を進めていこうと思います。年に 1 回しか開かれず、先生方も大変かも知れませんが、色々なことを先生方にはご相談したり情報を提供しながら、少しずつでも良くしていきたいなと思います。是非それを承知していただきながら、また 21 年度の事業も美術館職員も是非応援してください。よろしくお願いいたします。

委　員　　ではこれで終わります。

学芸員　　ありがとうございました。